



学校だより

おおふじ



2月号

令和2年2月3日

4月から新しい学びが始まります

今年の冬は、もう2月だというのに雪が降りません。天気予報でも「3月下旬から4月上旬の暖かさ…」ということばをよく耳にします。寒くないのはうれしいですけど、その反面（大丈夫かな？）という心配をしてしまいます。子どもたちは、あと2ヶ月弱で次の学年に進級。6年生はいよいよ中学生。どの子も4月から新しい学年で、元気いっぱい活躍してほしいです。

この4月から、新しい学習指導要領がスタートします。その大きなねらいは、子どもたちに社会に出ても学んだことが生かせるような、右の図にある「三つの力」を育むことを目指します。



それともなって、これまでの学習がいくつか変わりますのでお知らせします。

① 学習の観点が変わります

これまでの通知表は、教科ごとに4～5つの観点で評価していましたが、4月からはどの教科も、3つの観点で評価していきます。

例えば算数は「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「技能」「知識・理解」の4観点だったものが、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になります。

② 3・4年生が『外国語活動』、5・6年生が教科『外国語』がスタートします

これまでは高学年を対象にして、「英語に親しむ」活動、例えばコミュニケーションをとったり、英語でゲームをしたりする活動が行われてきました。

4月からは、3・4年生が「聞くこと・話すこと」を中心とした外国語活動を、週1時間実施します。そして5・6年生は、教科としての「外国語」が始まり、「聞くこと・話すこと」に加えて「読むこと」と「書くこと」が加わります。週2時間行われます。それに伴って、先日お知らせしましたように、3年生が1時間、木曜日の6時間目の授業が増えます。

今回のキーワードは「生きる力の育成」。

子どもたちが、これから先の未来で、もし困難にぶつかった時にそれを乗り越えるために、「自ら課題を見つけ」、「自ら学び・考え」、「自ら判断・行動」して解決する力を身につけてほしいという願いです。そして、どうか明るい幸せな未来をつかってほしいという願いが込められています。

新しく、時間をかけて取り組まなければならないことがたくさんあります。そのために、これまで行ってきた行事の見直しをせざるを得ないこともいくつかあります。

しかし、何よりも、人を思いやる優しさや温かさ、子ども本来の元気よさと明るさだけは最優先して大切にしたいと思っています。

保護者の皆様の温かいご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。